

# 令和2年度 第6回 政策推進会議報告

日 時 8月5日 9時32分～10時03分

場 所 WEB会議室

出席者 18人

## 1 令和2年度普通交付税及び臨時財政対策債の概要について

資産統括局長から資料に基づき報告。

## 2 尼崎市官民データ活用推進計画の修正について

総務局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(森山副市長)「計画推進行動指針を踏まえた基本的施策の方向性」の施策3(3)に統合型GISの点で「①市で構築した都市計画決定等の地理情報のWeb公開に向けた内部検討」という記載があるが、現在、導入する方向で政策調整を行っており、内部検討より一歩先に進んでいると思う。
- ・(市長) この計画の修正時点はいつか。森山副市長から意見のあった事業は、9月補正に計上するかどうかという議論を進めているものなので、議決の時期との関係もあるだろう。また、わざわざ来庁しなくてもWebで手続きや色々な書類の確認をできるようにすることが新型コロナの感染予防にも資するというので、今のところ交付金を充てるような形で議論がなされている。オープンデータの活用だけでなく、もっと幅広い意味合いを持って打ち出そうとしているということを共通認識にしていきたい。
- 今回は令和元年度に取り組んだものと令和2年度当初の取組予定項目ということでこういう記載になっている。そういう修正があれば、次回の修正に盛り込む形になると思う。
- ・(市長) 皆さんに共有しておきたいこととして、この官民データ活用推進計画は、新型コロナがなくても当然やっていくこととしていたが、感染拡大を受けて加速していくべきである。極力早く実施することで感染予防にも効果を発揮するであろうことについては、少し優先順位を上げて取り組んでいくということを、鑑文のようなものがどこかにあれば入れておいていただけたらいいかもしれない。また、先ほど言ったようにコロナの交付金を充てていく場合には、元々やろうとしていたことだけでなく、感染予防の観点も含んでいるという風に説明していかれたらと思っているので、その辺のニュアンスを皆さんと共有しておきたい。ホームページに公表するときは、どういう説明文が掲載されるのか。
- 前回のものに今年度の取組予定項目を加筆修正したという記載になると思う。
- ・(市長) 令和2年度の取組については、新型コロナ感染拡大の状況の中で、スピード感を持って進めていくということが非常に重要なポイントのひとつになっているということ、この会議での確認事項とする。
- ・(吹野副市長) この計画は平成30年度に作られたが、今回の新型コロナの問題で劇的にICTは変わってきているので、既存の記載内容の置き換えだけでなく、もう少し先を読んだロードマップのようなものもこの計画の中に盛り込む必要があるのではないかと思う。その辺を

踏まえて、情報化推進委員会でも議論していただきたい。

- ・(市長) やはり新型コロナの感染予防と対策ということを書くというのとは違和感がある。計画の中に記載したほうがいいと思うし、書くだけでなく強く意識した取組の推進が求められる。実務的には委員会のメンバーで詰めていただきたいと思うので、よろしく願います。

### 3 その他

- 総合政策局から、尼崎市長とアウクスブルク市長とのオンライン交流について説明。
- 教育次長から、尼崎市立文化財収蔵庫 出張企画展「綿を紡ぐ・歴史を紡ぐ」について説明。

以 上